

# IT×クラウドの変化を先取りする情報誌 「アスキークラウド」 2013年春 創刊

株式会社アスキー・メディアワークス(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:塚田 正晃、以下アスキー・メディアワークス)は、IT×クラウドの最新情報を先取りする情報誌「アスキークラウド」を創刊いたします。2013年3月に創刊号を発行する予定です。

クラウドコンピューティングの登場により、コンピューターは所有から利用へと大きくその姿を変えました。企業にとってクラウドの利用は、ビジネスをさらに発展させるための重要な要素となっています。

「アスキークラウド」は変化の速いクラウドの世界の情報を的確にとらえ、クラウドの最新情報やソリューションの紹介など、凝縮した情報を提供してまいります。

## 「パソコンからクラウドへ」

企業にとってクラウドコンピューティングの価値は、「ゲームのやり方」を変えたことにあります。コンピューターを所有し、自身の業務フローのために業務アプリケーションを開発する時代では、ITにコストをかけられる大きな企業が勝者でした。上場企業は多大な資金を投じ、コンピューターやメンテナンスにかかる人員を揃え、ネットワークを整備することができたからです。

しかし今日では、大企業もスタートアップするベンチャーと同じ土俵で、勝者となるべく激しい競争を強いられるようになりました。システムの大小を問わず、使った分の料金を支払えば、コンピューターをいつでも利用できるからです。処理能力に過不足があれば、どんどん拡張・縮小が可能で、インフラの構築や運用に気を遣うことなく、本来のビジネスに専念できるのです。絡み合ったリアルな情報、複雑な処理、膨大なデータ。これらを欲しいときに欲しいだけユーザーに届けられるのも、クラウドコンピューティングが登場したからだといえるでしょう。

世界にはコンピューターが5つあればよい——2006年にサン・マイクロシステムズのCTOであったグレッグ・パパドポラスが述べた言葉です。この言葉は、クラウドコンピューティングの台頭を予感させるものでした。そして今日、パパドポラスが夢見た世界が現実のものになりつつあります。

日本のパソコン史をリードしてきたアスキー・メディアワークスは、満を持して総合情報誌・ビジネス誌として、「アスキークラウド」を創刊します。35年前、世界が変わると私たちが信じたイノベーションが、いまクラウドコンピューティングを軸として起きつつあるからです。

クラウドに関する最新情報やソリューション紹介、PCとの連携、そして新しい時代を切り拓くスマートフォンやタブレットとの連携など、ソーシャルネットワークとビッグデータの時代にふさわしい野心的な挑戦にご期待ください。

編集主幹 角川歴彦

## 編集主幹 角川 歴彦 (かどかわ つぐひこ)

1943年東京都生まれ。早稲田大学第一政治経済学部卒業後、株式会社角川書店に入社。現在、株式会社角川グループホールディングス取締役会長。内閣官房知的財産戦略本部本部員、早稲田大学客員教授、MITメディアラボ特別研究員なども務める。著書に『クラウド時代とクール革命』(角川oneテーマ21)がある。

## ■アスキークラウド概要

誌名：アスキークラウド

発行形態：雑誌(刊行ペースは未定)

価格：未定

判型：A4変型判

発行時期：2013年3月創刊号発行予定

対象読者層：

企業の情報システム部門および経営マネジメント層を中心にクラウドサービスに関心をお持ちの方、クラウド技術を利用した新たなサービス動向にご興味のある方、また、それらを事業化しようとする方

発行：株式会社アスキー・メディアワークス 発売：株式会社角川グループパブリッシング

編集主幹：角川 歴彦(角川グループホールディングス取締役会長)

編集長：中野 克平(アスキー・メディアワークス)

## ■編集長プロフィール

中野 克平 (なかの かつぺい)

1970年神奈川県生まれ。朝日新聞社を経てアスキーに入社し、「月刊NETWORK MAGAZINE」を編集。アスキー・メディアワークスの情報サイト「ASCII.jp」のリニューアルを主導し、現在は「Web Professional」編集長を兼務するほか、同社技術部でクラウド事業の推進にも関わる。

## ■クラウド研究会代表 丸山不二夫氏より

### 「アスキークラウド創刊に対するエントースメント」

クラウドへの関心は、衰えることなく続いています。クラウド技術は、「すでにそこにある技術」「普通の技術」の1つとして、一部ではその受容はすでに完了し、一部では受容の準備が急速に進んでいます。

ただ、技術のトレンドの1つとしてクラウドを語るのは、もはや十分ではありません。ほとんどすべての企業活動にとって、クラウドの利用はビジネスのさらなる発展において、死活的と叫ぶに値する意味を持っているからです。

重要なことは、単なる一過的な技術の変化ではなく、これからも長く続く大きな社会的な変化の入り口に、いままさに私たちが立っていることに、多くの人が気づきつつあるということです。クラウドは、iPhoneやAndroid、Surfaceといった爆発的な普及が進行しているクラウドデバイスたちとともに、インターネットの新しい骨組みを形成しつつあります。

「クラウドとクラウドデバイスのプラットフォームの成立」という、このインターネットの新しい発展段階では、PCの時代が終わるだけでなく、新しいネットワークメディアの躍進のもと、旧メディアの没落がはじまり、新しいネットワークマーケットの台頭とともに、日常的な経済活動のすべてがネットワーク化されていく、歴史的な過程がはじまるでしょう。

「アスキークラウド」誌の発刊を歓迎します。

クラウド研究会代表  
丸山不二夫

丸山 不二夫 (まるやま ふじお)

クラウド研究会代表。NPO日本Androidの会理事長。東京大学教育学部卒。一橋大学大学院社会学研究科博士課程修了。稚内北星学園短期大学学長。同短大の四年制大学移行にともない、稚内北星学園大学学長を二期務める。その後、早稲田大学情報生産システム研究科客員教授、公立はこだて未来大学情報科学部特任教授。

## **「CEATEC JAPAN 2012」会場から、角川歴彦会長が生放送に登場！**

本日10月2日（火）より幕張メッセにて開催中の「CEATEC JAPAN 2012」のASCIIブース内特設スタジオに、角川グループホールディングス・角川歴彦会長が登場します。ニコニコ生放送とUstreamによる生放送で、アスキークラウドについて語ります。

### **『クラウド時代のアスキー新雑誌メディア』**

■日時：10月3日（水）13：00～14：00

■出演：角川グループホールディングス取締役会長 角川歴彦  
アスキー・メディアワークス「アスキークラウド」編集長 中野克平

■視聴方法：

【ニコニコ生放送】<http://ch.nicovideo.jp/lives/weeklyascii> よりご覧ください。

【Ustream】<http://weekly.ascii.jp/ceatec2012/> よりご覧ください。

※回線トラブルなどが発生した際にはサブチャンネルで配信いたしますが、通常はメインチャンネルで  
ご覧ください。

### **<ご参考>**

#### **■株式会社アスキー・メディアワークスとは**

「電撃」「アスキー」「魔法のらんど」という3つのブランドを軸として、エンターテインメントを中心としたコンテンツを発信する、コンテンツ・プロデュース・カンパニー。雑誌・書籍の出版を主軸に、ウェブ・モバイル、電子書籍・アプリのほか、映像・音楽、グッズ、イベントなど、メディアを超えてコンテンツをプロデュースしています。2012年11月、アスキー・メディアワークスは創立20周年を迎えます。

●AMW創立20周年記念企画 公式サイト：<http://20th.asciimw.jp/>

●公式ホームページURL：<http://asciimw.jp/>

●公式Facebookページ：<https://www.facebook.com/asciimw>

以上

【本件に関する報道関係からのお問い合わせ先】  
株式会社アスキー・メディアワークス 経営企画部  
TEL:03-5216-8123 FAX:03-5216-8124 E-mail:[plan-pr@ml.asciimw.jp](mailto:plan-pr@ml.asciimw.jp)